

3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

日本では古代をつうじて、①稲や布（麻・絹）が貨幣（物品貨幣）として使われました。また、律令に基づく中央集権をめざした国家は、②中国にならって、708年に貨幣を発行しました。しかし、材料となる銅の産出量の減少や国の権力の弱体化などの原因から、958年に発行されたものを最後に日本国内で貨幣は発行されなくなりました。

12世紀なかばから16世紀では、おもに中国から入ってきた貨幣が使われました。このころの貨幣として③宋銭が日本国内の遺跡から多く出土しています。また、④明銭の永楽通宝は、15世紀以降、東日本を中心に年貢などの基準通貨となりました。

16世紀のなかばになると⑤戦国大名による金銀山の開発が盛んになり、とくに国内の鉾山開発の先駆けとなったのは、石見銀山（鳥根県）で、この銀は海外へも輸出されました。⑥豊臣秀吉の後に全国統一を果たした（あ）は、金銀鉾山を直接支配し、貨幣を製造する職人集団をもうけて、1601年に慶長金銀を発行しました。

⑦明治時代になると、政府は西洋式の製法でつくられた金貨・銀貨・銅貨、さらに紙幣を発行しました。⑧西南戦争の際には、戦費調達などの理由から紙幣が大量に発行されることもありました。

- (1) 文章中の空らん（あ）に当てはまる人物の名前は何ですか、漢字で答えなさい。
- (2) 下線部①について、奈良時代、農民は稲を税として納めていました。この税の名前は何ですか、漢字で答えなさい。
- (3) 下線部②について、次の各問いに答えなさい。
 - (a) この貨幣の名前は何ですか、答えなさい。
 - (b) この貨幣は、新たな都の造営のための賃金などとして使用されました。この新たな都の名前は何ですか、漢字で答えなさい。